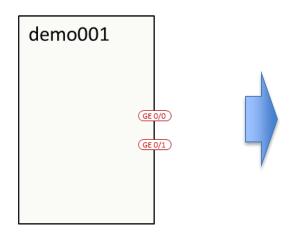
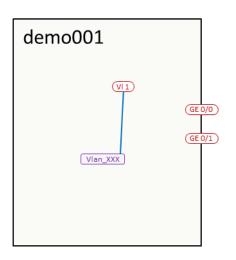
本手順でできること

デバイスファイルの[L2 Table]シートを更新しVLANインタフェース(SVI)を作成します。

L2構成図





 XX x/x
 ...
 L2モードのインタフェース

 XX x/x
 ...
 L3モードのインタフェース

 XXXX
 ...
 L2セグメント

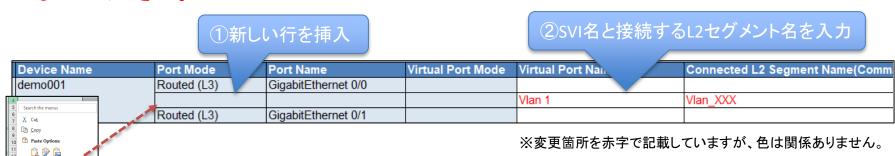
①機器ポート管理表の生成

「<u>2-4. デバイスファイルのエクスポート(解説付き)</u>」を参考にデバイスファイルをエクスポートします。

② [L2 Table]シートの更新 VLANインタフェース(SVI)

デバイスファイル [L2 Table]シートのSVIを追加したいデバイスの行の間に、Excelの行を追加します。追加した行の「Virtual Port Name」にSVI名、「Connected L2 Segment Name」に接続するL2セグメント名を入力してください。

- L2セグメント名に空白(スペース)は使用できません。
- 1つのSVIは1つのL2セグメントにのみ接続できます。2つ以上のL2セグメントは入力しないでください。



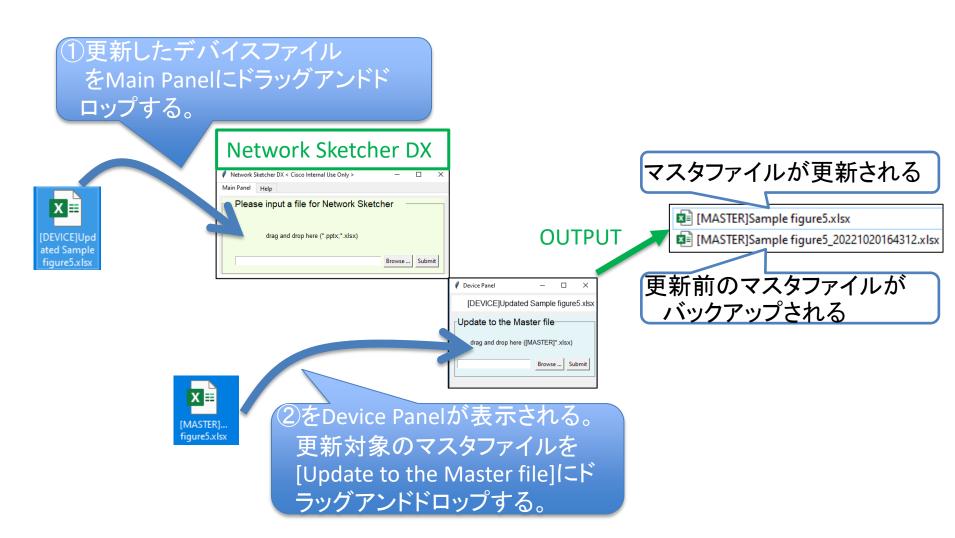
「Virtual Port Name」の命名規則は物理インタフェースと同じく以下となります。

ポート種別名とポート番号の間に半角スペースを入れてください
[ポート種別名] + [半角スペース] + [ポート番号]

Portchannel 0/4

③更新情報の同期1

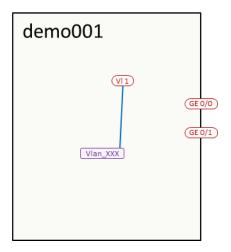
更新したデバイスファイルと、同期先のマスタデータファイルをそれぞれ選択し、同期させます。マスタデータが更新されるため、元のマスタデータはファイル名に"_yyyymmddhhss"を付けてバックアップされます。



④L2構成図の確認

「<u>2-2. L2構成図の生成(凡例付き)</u>」を参考に、L2構成図を生成して変更内容が反映されていることを確認ください。

L2構成図:生成例



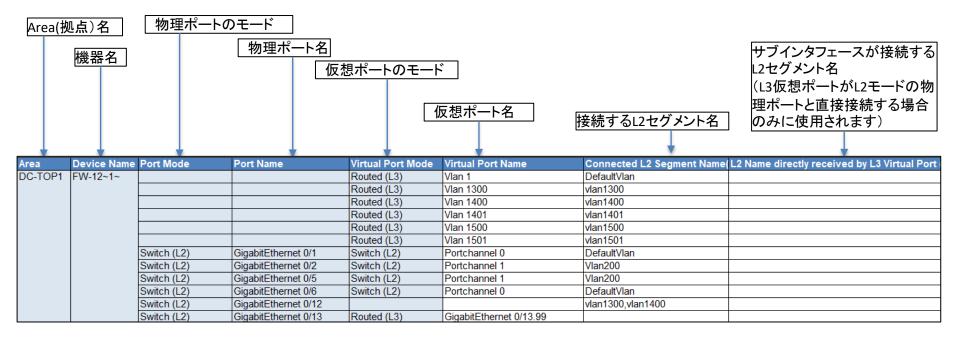
 (XX x/x)
 ・・・・ L2モードのインタフェース

 (XX x/x)
 ・・・・ L3モードのインタフェース

 (XXXX)
 ・・・・ L2セグメント

[参考資料]デバイスファイル [L2 Table]シートの解説

デバイスファイル名[DEVICE]~の[L2 Table]シートの説明。目的のレイヤ2構成方法については、<L2/L3構成>セクションを参照ください。



L1 Table L2 Table L3 Table